

レビューシート（令和4年度レビュー対象事業：フォローアップ型）

様式3

レビュー項目 (事業名)	企業におけるがん検診受診促進のための申請事務のオンライン化（企業におけるがん検診受診促進事業）				部（局）	保健医療部				
					所管課	疾病対策課				
					担当班	がん対策班				
					連絡先	078-362-3202				
開始年度	平成26年度	終了年度	—	関連計画等	がん対策推進計画					
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input type="checkbox"/> 県単独事業									
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他( )				実施主体等	健康づくりチャレンジ企業等の中小企業				
事業目的	兵庫県の年齢階級別の死因順位では、がんは40歳～80歳代までの第1位となっている。がん検診受診により早期発見できれば、治せる可能性は非常に高く治療も軽くすむが、本県のがん検診受診率は全国と比較して低調である。 また、働く世代ががんに罹患すると、本人のみならず、家族や同僚といった周りの人に影響が及ぶことから、企業内でのがん検診受診啓発の取り組みを促進し、職域によるがん検診受診率の向上を図る。									
事業概要	大企業と比較すると、企業内での検診受診支援制度に取り組む中小企業が少ないことから、健康チャレンジ企業に登録する中小企業等の従業員およびその被扶養者が受診したがん検診（胃・肺・大腸・乳・子宮頸）の受診費用の自己負担相当額（各がん検診につき上限2千円まで）を助成する。									
業務フロー	8月頃：募集開始、8～11月頃：交付申請書受付、12月頃：交付決定翌3～4月頃：実績報告受付、4月頃：補助額確定									
R4レビュー時の外部委員会意見	・オンライン化も含めた手続きの簡素化を図ることで、本補助制度の利用率の向上が見込めるのではないか。 ・企業側の負担をいかに減らしたかが、アウトカム指標になるのではないか。 協力してもらえる企業に、どこが負担になっているかヒアリングしてみてもどうか。 ・企業側と県側の作業時間の短縮効果をアウトカム指標にすべきである。									
改善結果  (改善状況 取組過程)	令和5年度からキントーンを活用した申請手続きのオンライン化を実施。また企業に対し申請手続き等にかかる負担等についてヒアリング(アンケート)を行った。 ヒアリングの結果では、オンライン化により負担が軽くなったまたはどちらかといえば軽くなったと回答した企業が83.6%、オンライン申請のわかりやすさについて、わかりやすかったまたはどちらかといえばわかりやすかったと回答した企業が72.2%となっており、オンライン化により事務手続きが簡素化され負担が軽減されていると考える。									
事業に要するコスト	区 分		4年度決算額		5年度決算額		6年度当初予算額		7年度当初予算額	
	事業費①		9,980千円		10,395千円		15,000千円		15,000千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円	
		補助金・交付金	9,980千円		10,395千円		15,000千円		15,000千円	
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		その他	0千円		0千円		0千円		0千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(特定)	(9,980千円)		(10,395千円)		(15,000千円)		(15,000千円)	
		(起債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(一般財源)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		18,183千円		21,683千円		15,000千円		15,000千円	
	執行率((①/②)×100)		54.9%		47.9%		100.0%		100.0%	
	人件費③ (a+b+c)		従事人員	0.2人	従事人員	0.2人	従事人員	0.2人	従事人員	0.2人
			224千円		1,650千円		1,744千円		1,799千円	
職員給与費	a	1,427千円		1,431千円		1,520千円		1,581千円		
賞与引当金繰入額	b	117千円		119千円		117千円		119千円		
退職手当引当金繰入額	c	108千円		100千円		108千円		100千円		
総コスト(①+③)		10,204千円		12,045千円		16,744千円		16,799千円		

レビューシート（令和4年度レビュー対象事業：フォローアップ型）

様式3

	指標名	区分	4年度実績	5年度実績	6年度見込	7年度目標	最終目標【年度】	
評	成果指標(アウトカム指標①)	目 標	50%	50%	60%	60%	60%	
	がん検診受診率 （「国民生活基礎調査」数値）	実績（見込）	胃：43.0% 肺：44.2% 大腸：43.2% 乳：42.8% 子宮：38.9%	※	※	※	【令和8年度】 ※国のがん対策推進計画目標値	
	※調査は3年に1度実施 （R5～7受診率がR8に判明予定）	（単位当たりコスト）	—	—	—	—		
		達成率（見込）	—	—	—	—		
価	成果指標(アウトカム指標②)	目 標	※	※	12分	12分	12分	
	1人当たりの申請にかかる作業時間 ※レビューを踏まえ、令和5年度に短縮時間を調査し、令和6年度より新たに目標設定	実績（見込）	41分	12分	(12分)	(12分)	【令和8年度】	
		（単位当たりコスト）	(249 千円)	(1,004 千円)	(1,395 千円)	(1,400 千円)		
		達成率（見込）	—	—	(100.0%)	(100.0%)		
指	成果指標(アウトカム指標③)	目 標						
		実績（見込）						
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—		
		達成率（見込）	—	—	—	—		
標	活動指標(アウトプット指標①)	目 標	130	200	200	200	200	
	補助利用企業数	実績（見込）	180	177	170	(190)	【令和8年度】	
		（単位当たりコスト）	(57 千円)	(68 千円)	(98 千円)	(88 千円)		
		達成率（見込）	138.5%	88.5%	85.0%	(95.0%)		
自	活動指標(アウトプット指標②)	目 標	9,000	13,000	13,000	13,000	13,000	
	補助利用従業員及び被扶養者数	実績（見込）	11,201	12,409	12,664	(13,000)	【令和8年度】	
		（単位当たりコスト）	(1 千円)	(1 千円)	(1 千円)	(1 千円)		
		達成率（見込）	124.5%	95.5%	97.4%	(100.0%)		
己	活動指標(アウトプット指標③)	目 標						
		実績（見込）						
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—		
		達成率（見込）	—	—	—	—		
評	終期設定	有（ ）					（無）	
	改善基準							
評	評価の視点	評価	目標に対する達成状況（総合的評価）					
	<p>○有効性(評価指標に対する実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県民ニーズを的確に踏まえた事業か</li> <li>・民間での事業実施は見込めない事業か</li> <li>・指標・目標設定は適切か</li> <li>・活動実績は十分か</li> <li>・想定された成果を達成しているか など</li> </ul> <p>○効率性(最小のコストで最大の効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務改革に取り組んでいるか</li> <li>・コスト削減の工夫を行っているか</li> <li>・ICTや民間活力は活用しているか</li> <li>・受益者負担は適正か</li> <li>・財源確保の工夫は行っているか など</li> </ul>	<p>補助利用企業数はR2に目標値を超えて以降停滞しているものの、補助を利用しがん検診を受診した従業員及び被扶養者数は年々増加しており(R6見込でR4比較約1,500名増)、企業が従業員等に対し積極的に受診を促すなど、がん検診への意識が高まっていることが伺える。</p> <p>令和5年度より申請手続きのオンライン化を開始。企業へのヒアリングでは83.6%が事務負担が軽くなったと回答しており、効率性の向上が見て取れた。</p>	<p>B：ほぼ満足 のいく 実施 状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がん検診受診率について、全国的に増加傾向にあることから国の計画目標値が令和5年3月に50%→60%に引き上げられたが、兵庫県においてははみだいずれの部位においても50%に達していない状況にあり、引き続き受診促進の取り組みが必要。</li> <li>・利用企業へのヒアリング結果から、申請のオンライン化により手続きが簡素化され負担軽減の効果が見られており、今後の利用率の向上が見込める。より多くの企業に利用していただき、受診率の向上につながるよう引き続き事業実施していく。</li> </ul>					
課題・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
価	<p>説明 <span style="font-size: 2em;">}</span> 申請のオンライン化を開始したことにより事務作業が軽減し、申請へのハードルが下がったことが伺え、今後より多くの企業に当事業を利用していただけるのではないかと考える。オンライン申請において、より効果的に進めるための要望があった際には、必要に応じて対応を検討していく。</p>							
外部委員会意見	<p>○委員会の意見を踏まえ、令和5年度から申請事務のオンライン化を実施し、企業へのヒアリング結果からも、83.6%が「負担が軽くなった」と回答するなど、事務手続きの簡素化による効果が確認されている点は高く評価できる。</p> <p>○また、申請作業時間の短縮(41分→12分)という定量的な成果指標の設定も、改善の成果を可視化する有効な手法であり、今後の事業展開においても活用が期待される。企業側の負担を大きく減らし、その効果をわかりやすく可視化できたこと、委員の意見を取り入れて改善された点は素晴らしい。</p> <p>○一方で、県内のがん検診受診率は依然として全国平均を下回っており、国の目標値(60%)にも届いていない状況であるため、さらなる受診促進策の検討が求められる。</p> <p>○今後は、より多くの企業への周知・参加促進とともに、申請手続きのさらなる利便性向上や、企業側のニーズに即した支援内容の充実を図ることで、受診率の向上に一層貢献されたい。</p>							